

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

②施設・事業所情報

名称：ペガサス新横浜保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：小田 真	定員（利用人数）： 72名
所在地：〒222-0033 横浜市港北区新横浜 3-24-14	
TEL：045-476-0768	
ホームページ： http://yamayuri-kai.jp/	

【施設・事業所の概要】

開設年月日 2003年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 山百合会		
職員数	常勤職員： 12名	非常勤職員： 22名
専門職員	管理栄養士 1名	看護師 1名
	栄養士 2名	
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)
	保育室6室、厨房1室、職員休憩室1室、医務室、事務室1室、予備室	

③理念・基本方針

保育理念

その子らしく尊厳を持って生きることのできる、人間の土台を育てる

私たちは、「子どもたちの笑顔と未来のために」を合い言葉に、ひとりひとりが安心して自分らしく過ごせる

「空間・時間・仲間」を保障する保育環境を大切にしたいと考えています。保育園は子どもたちにとっては「昼間のおうち」です。長い時間生活する上でできるだけ「からだ」や「きもち」が辛くならない様に配慮していきたいと考えています。

保護者の皆さんにとっても、子どもたちにとっても安全で安心な保育園になる様、努力を重ねていきたいと考えています。

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・2歳児から5歳児までの保育室は一つの空間を棚などで仕切って年齢ごとのクラス編成で保育する、年齢間に壁のない保育を実践しています。
- ・食事のあり方を大切にし、保育内容と2本柱としています。給食に野菜が多く取り入れられていて、旬の食材や日本の伝統を食事で感じることができるよう工夫しています。野菜は無農薬、米はよいが米を用いています。
- ・雨でなければ毎日、子どもたちは園庭で遊んだり散歩に出かけたりしています。
- ・布オムツを用い、保育士と子どもの1対1のスキンシップの機会を多く設けています。子どもが不快感から解放され安心して保育士に甘えることができる時間を大切にしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年4月24日（契約日）～2021年1月19日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2016年度）

⑥総評

◆特に評価の高い点

・子どもたちは様々な経験をし、元気いっぱいに園生活を楽しんでいます

保育室には、子どもが主体的に遊べるように年齢や発達に合わせた遊具や絵本が並べられ、遊びのコーナーが用意されています。自由遊びの時間には、子どもたちは友だちと一緒にブロックで作品を作ったり、一人でゆっくりと本を読んだり、それぞれが好きなことをして過ごしています。晴れていれば毎日、近隣の散歩に出かけ、鬼ごっこやボール遊びなどで思いっきり身体を動かし、四季の自然に触れて、身体能力や感性を養っています。

保育室には自分の思いを素直に表現したのびのびとした楽しい作品が展示されていて、子どもたちが園生活を楽しんでいる様子が伝わります。

・保育士は、子ども一人ひとりが自分らしさを発揮できるように支援しています

保育士は家庭や子どもの状況について把握するとともに、子どもに優しく問いかけて子どもの言葉を引き出し、子どもの意向を確認しています。クラスやフロア、リーダー会議などで一人ひとりの子どもの状況について話し合い、活動や保育室の環境構成に反映しています。子どもの家庭での生活リズムにあわせて午睡の時間をずらし個別対応するなど、個々の課題にも対応しています。保育士は、子どもの個性や得意なことを引き出し、一人ひとりの子どもが自分らしさを発揮できるように支援しています。

・目指す子どもの姿を職員間で共有し、連続性のある保育を実践しています

全体的な計画や指導計画は5歳児までの目指す姿を考慮したカリキュラムとなっていて、年齢に応じて少しずつ積み上げていく連続性のあるものとなっています。園の2本柱である食事についても、年齢ごとの食育計画を作成し、子どもが様々な食の経験を楽しみながら食の大切さを学び、マナーなどを身に付けられるようにしています。計画の期間ごとに評価・反省を行い、きちんと次期の計画に反映していて、子どもの今の姿や発達状況、興味・関心等に応じて柔軟に見直しています。年度末には、職員会議等で話し合い、クラスや給食だけでなく保育目標にある目指す子どもの姿や全体的な計画についても評価しています。職員は、計画に沿った振り返りや自己評価を重ねながら目指す子どもの姿を共有し、子どもの発達状況にあわせた長い視点にたった保育を実践しています。

◆改善を求められる点

・保護者が園の取り組みを理解できるよう、積極的に情報発信していくことが期待されます

園は、連絡帳や送迎時の会話で保護者とコミュニケーションを取るように努めています。ただし、今回の保護者アンケートでは保護者が園の取り組みを正しく伝わっていないのではと思われるものも見られます。新型コロナウイルスの影響で行事等が中止になっていることもありますが、説明の工夫が必要ではと思われるものもあります。

新しい生活様式に対応した発信の方法や保護者が分かりやすい説明の方法を工夫し、積極的に情報発信していくことが期待されます。

・課題について、職員とともに取り組んでいかれることが期待されます

今回の新型コロナウイルスでは、園長は運営法人の方向性を示しながら園としての対策について職員と話し合いを重ねてきました。運営という視点を共有することが難しいこともありましたが、子どものためにという話し合いを重ねることで少しずつ合意が生まれています。今後も、今回の経験を活かして職員が理解できるような説明の仕方を工夫し、課題を共有して改善に向けて取り組んでいかれることが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大と言う今までに経験したことのない状況下で、保育園の生活が今まで当たり前活動していた事が出来ないことから、そのストレスやもどかしさと闘いながらの毎日の保育を行ってきました。また、今回は新しい神奈川県基準に変更され、受審には不安を感じておりました。

しかし、今回の評価では、私たちの良い部分をたくさん拾っていただきましたので、私たちの自信となりうれしく感じています。

今回の評価では、①子どもが主体的に遊べる環境である事 ②自分らしさを発揮できるように支援している事 ③子どもの思いに耳を傾け活動を展開している事 ④仕切りのない保育室内をうまく工夫し活用している事などで良い評価を頂きました。

一方で、この様な大切にしている部分や日常の保育が、園としてうまくお伝えすることが出来ない現状から、保護者の皆様には、まだまだご理解頂けていない現状もあります。

今後は、私たちの目指す保育をわかりやすく丁寧にお伝えする事を重点に、対話や、おたより、メール配信、懇談会などで通じて積極的に発信していきたいと思えます。

また、自己評価では非常勤も含めて全員参加をしており情報の共有化も進みました。

つきましては、この取り組みが今回で終わる事のない様に、今後も保育の質の向上と園目標の「子どもたちがその子らしく自信をもって生きる力の土台をつくる」保育を全員参加で取り組んでいきたいと思えます。ありがとうございました。

ペガサス新横浜保育園

園長 小田 真

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり